

# 都市再生整備計画(第1回変更)

堺<sup>さかい</sup>旧<sup>きゅう</sup>港<sup>こう</sup>周<sup>しゅう</sup>辺<sup>へん</sup>地<sup>ち</sup>区<sup>く</sup>

大阪府<sup>おさか</sup>堺<sup>さかい</sup>市

令和3年1月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	堺市	地区名	堺旧港周辺地区	面積	34 ha
計画期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度	交付期間	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度				

### 目標

<大目標> 都心での海辺文化・賑わいの再興

目標1: 歴史・文化資源が豊富な堺旧港に隣接している特性を活かし、多くの市民・来訪者が海辺で憩い、海を眺めることができる非日常的な交流空間を形成する。

目標2: 都心地域内での海辺の立地特性を活かし、民間事業者による商業機能の導入による魅力的な賑わい空間を創出する。

目標3: 地区内の回遊性を高め、市民・来訪者が海を眺めながら、快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実を図る。

### 目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・堺港の歴史は古く、15世紀以降、貿易船が盛んに往来した。18世紀初頭の大和川付替工事により、堺港は衰退した。その後、18世紀末に、改修工事が行われた。これが現在の堺旧港である。  
 ・堺旧港の先端に位置する旧堺燈台は、明治10年に建築された建物である。現地に現存する我が国最古のものひとつとして、昭和47年に国の史跡に指定されている。  
 ・大浜公園は、明治12年に開園した堺市営で最も古い公園で、明治36年には第5回内国勲業博覧会の会場として堺水族館が設置されるなど、当時は関西有数のレジャー地として賑わった歴史ある公園である。  
 ・大浜体育館は、昭和46年に堺市が体育館として初めて建設したもので、柔道場と剣道場があり、多くの武道大会が開催されているが施設の老朽化により、利用ニーズに応えることが困難になってきている。市民が安全で快適にスポーツに親しめる体育館として建替えるとともに、市の武道振興の拠点とし武道館を併設整備するため、大浜体育館建替え整備運営事業に取り組んでいる。  
 ・大浜北町市有地は、昭和58年度策定の構想において、国際文化・商業施設に位置づけられ、その後、事業用地として用地買収に着手した。平成6年には現状(用地買収率97.5%)となるが、暫定的な土地利用にとどまっている。この市有地を活用し、歴史ある堺の港ならではの魅力あるウォーターフロントの形成を目指し、商業施設や公共施設を一体的に整備する大浜北町市有地活用事業に取り組んでいる。

課題

・本地区は南海本線堺駅から徒歩圏に位置し、周辺に多様な歴史・文化資源を有しつつも、市民等が訪れる魅力ある憩い・賑わいの場とはなっていない。  
 ・堺旧港の護岸によって海と市街地が分断され、市民や来訪者が気軽に安全に海に近づくことが困難な状況である。  
 ・大浜北町市有地と大浜公園が幹線道路で分断されており、歩行者の利便性や安全性に乏しい。

将来ビジョン(中長期)

○堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」(平成23年3月策定)

【都心地域のまちづくりの方向性】

堺東周辺地域と並ぶ都心地域の核であり、世界に開かれた観光インバウンド・国際交流などの玄関口として、商業・業務・居住機能を集積・強化するとともに、堺旧港や大浜公園の賑わいづくりなどにより、集客・交流機能を向上させます。

○堺市都市計画マスタープラン(平成24年12月策定)

【都心の活性化と魅力づくり】

・堺旧港およびその周辺部においては、海辺の歴史・文化や水・緑を生かした魅力ある都市空間の形成と商業・業務・文化・居住などの都市機能の集積を図るため、親水空間の整備とその周辺整備を推進するとともに、新たな都市機能の誘因を促進することにより、市民に憩いと交流の場、まちの賑わいを創出します。

○堺 都心のまちづくりプラン(平成24年7月策定)

【まちの将来イメージ】

・まちの将来像を「都心地域の西の玄関口としての賑わい・交流の機能充実と、海に開かれた水辺空間を活かした歴史と潤いの感じられるまちづくりにより、市内外から訪れる人で賑わうまち」とします。

○堺臨海部再生・創造ビジョン(平成24年8月策定)

【取り組み内容】

・市街地との近接性の向上や歴史文化資源の更なる活用、世界と交易のあつた中世のみなと機能の再興、景観への配慮、回遊性を高めることで、都心地域での市民・来訪者が気軽に海と触れ合え、みなとや歴史文化の香りが味わえる賑わい空間の形成をめざします。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
				基準年度	目標年度	
親水性護岸の利用者数	人/年	親水性護岸の利用者数	海辺での憩い、海を眺めることができる交流空間を形成することにより、親水性護岸の利用者数アップにつながる。	16,425	平成28年度	58,760 令和4年度
堺旧港の認知度・魅力度(アンケート)	%	毎年実施するイベント参加者への堺旧港認知度アンケート	賑わい空間の形成により、“堺旧港”の認知度のアップにつながる。	27	平成29年度	50 令和4年度
堺駅の乗降客数	千人/年	1年間の南海本線堺駅の乗降客数のうち、定期利用を除いた数	南海本線堺駅から、本地区へのアクセス性を改善し、旧堺港や大浜公園等への来訪者が増加することにより、賑わい空間の形成につながる。	5,978	平成27年度	7,174 令和4年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(歴史・文化資源が豊富な堺旧港に隣接している特性を活かし、多くの市民・来訪者が海辺で憩い、海を眺めることができる非日常的な交流空間を形成)</p> <p>・本地区は堺旧港の護岸によって海と市街地が分断され、来訪者が安全に海に近づくことはできない。また幹線道路により市街地とも分断されているため、歩行者の利便性や安全性に乏しい。このため堺駅から大浜公園までのパブリックアクセスとしての歩行者動線の確保や、市道上空を占用し、大浜北町市有地と護岸を接続する橋を設置することで、多くの市民・来訪者が海辺で憩い、海を眺めることができる交流空間の形成を図る。</p>	<p>地域生活基盤施設(歩行者通路):基幹事業                      地域生活基盤施設(連絡橋):基幹事業                      道路(周辺道路):基幹事業</p>
<p>整備方針2(都心地域内での海辺の立地特性を活かし、民間事業者による商業機能の導入による魅力的な賑わい空間の創出)</p> <p>・民間事業者による商業施設導入をめざす大浜北町市有地活用事業において、周辺地域住民に対する地域活性化イベントの積極的な展開や、観光客や市民が利用できる空間整備により、魅力あるウォーターフロント、賑わい空間を形成する。</p>	<p>大浜北町市有地 民間施設整備事業:関連事業</p>
<p>整備方針3(地区内の回遊性を高め、市民・来訪者が海を眺めながら、快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実)</p> <p>・市民、来訪者の誰もが、快適で、安全に散策できるパブリックアクセスを充実すべく、堺駅から大浜公園までのパブリックアクセスとしての歩行者動線の確保、大浜北町市有地と堺旧港護岸を接続するため、市道上空を占用する橋を設置する。これにより、南海堺駅から本地区へのアクセス性、市街地と海との連続性を確保する。</p>	<p>地域生活基盤施設(歩行者通路):基幹事業                      地域生活基盤施設(連絡橋):基幹事業                      道路(周辺道路):基幹事業</p>
<p>その他</p> <p>○中心市街地活性化に向けた地域の取組み</p> <p>中心市街地活性化協議会が設置され、平成27年3月27日に本地区を含む区域を対象として、中心市街地活性化基本計画を策定し、認定を取得した。また、協議会が主体となって地域の活性化に向けた取組みを実施しており、こうした活動への支援等を通じて、継続的な賑わいの創出に努める。</p>	



都市再生整備計画の区域

堺旧港周辺地区(大阪府堺市)

面積	34 ha	区域	堺市堺区 大浜北町3~5丁、大浜西町、北波止町、戎島町3~5丁、栄橋町1・2丁、竜神橋町1・2丁
----	-------	----	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

